

災害時

あなたならどうする？



災害に強いまちづくり講座

～ 災害時要援護者支え合いマップ&クロスロードゲームの底力 ～

平成7年阪神・淡路大震災の震源地に近い淡路島の北淡町では、家屋の大半が倒壊したにも関わらず、約300名を超える住民が救出されました。ここでめざましい力を発揮したのは、向こう三軒両隣の助け合い（自助・共助）でした。未曾有の大災害の直後、行政機能が麻痺した時に、頼れるものは地域住民たちのつながり力だったのです。

この教訓に着目し、小地域を基本とする「安否確認・避難支援登録シート」の作成や、「福祉（支え合い）マップ」の更新など、自分の地域はみんなで作るという「共助」を実践している伊賀市地域福祉活動から、わが町でとりくむべき支援ネットワークづくりや防災啓発について学びましょう。

2009年

1月23日 (金) 13:30 ~ 16:30

- ◇会場：田原市役所 6階講堂（防災センター）
- ◇講師：伊賀市社会福祉協議会 地域福祉活動推進部長
乾 光哉 氏
(いぬい みつや)



三重県伊賀市柘植地区では、平成17年度に「住民による見守りネットワークづくり事業」を開始し、平成18年度には、災害時要援護者支援ネットワークを構築するための基本となる「災害時安否確認マニュアル」を策定しました。

このマニュアルの原案を提供したのが、伊賀市社会福祉協議会です。消防団や民生委員と連携を取り、平成19年度には「自主防災実行委員会」を発足させ、日頃から安否確認などに重点を置いた活動を展開しています。

小地域を基本とする「安否確認・避難支援登録シート」の作成や、「福祉（支え合い）マップ」の更新など、自分の地域はみんなで作るという「共助」の仕掛け人 乾氏。災害対応を自らの問題として考え、様々な意見や価値観を参加者同士共有できるカードゲーム教材『クロスロード』を用いたワークショップは、全国で大好評です。

■参加対象

民生委員／自主防災会／自治会／社会福祉協議会職員／行政職員／施設職員／防災に関心のある市民 どなたでもご参加ください

■申込方法

参加ご希望の方は、FAXまたはお電話で、下記までお申し込みください。

■申込先

田原市社会福祉協議会 電話 0531-23-0610 FAX 0531-23-3970

(担当：菊池、中西)